

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公表番号】特表2016-514067(P2016-514067A)

【公表日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2016-030

【出願番号】特願2015-552624(P2015-552624)

【国際特許分類】

B 6 4 F 5/00 (2006.01)

B 6 4 C 1/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/10 (2012.01)

B 2 9 C 73/12 (2006.01)

【F I】

B 6 4 F 5/00 B

B 6 4 C 1/00 B

G 0 6 Q 50/10 1 3 0

B 2 9 C 73/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月12日(2016.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一つのプロセッサを有するデータ処理システムにより実行される熱管理のための方法であって、

構造物の修理範囲の構造組成についての構造情報を受信することであって、前記修理範囲は、損傷したエリアを含む修理エリア(214)を含む、受信することと、

前記構造情報を使用して前記修理範囲のマップを生成することであって、前記マップは、前記修理エリア(214)の表示を含む、生成することと、

前記修理エリア付近の温度センサの提案配置を決定するために前記構造情報を分析することであって、前記温度センサは、ホットボンダー(210)及び関連付けられたヒートブランケット(212)を制御するために使用される、分析することと

を含む、方法。

【請求項2】

前記構造情報は、前記修理範囲を走査するように適合されるスキャナから受信される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記スキャナは、ジオメトリスキャナ(325)である、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記データ処理システムのスクリーン(226)上に、前記修理範囲の前記マップに対して前記温度センサの前記提案配置を表示することを更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記データ処理システムの前記スクリーン(226)上に、前記修理エリア(214)の前記表示を含む、前記修理範囲の前記マップを表示することを更に含む、請求項4に記載の方法。

## 【請求項 6】

前記データ処理システムに連結されるプロジェクタ(408)に、前記温度センサの前記提案配置を前記修理範囲上に投影させることを更に含む、請求項1に記載の方法。

## 【請求項 7】

前記スキャナから、前記修理エリア(314)付近の前記温度センサの実際の配置を示す温度センサ配置情報を受信することであって、前記スキャナは、前記修理エリア(314)付近の前記温度センサの前記実際の配置を検出するように適合される、受信することと、

温度センサインジケータを生成することであって、各温度センサインジケータは、前記スキャナにより検出された温度センサと関連し、前記温度センサインジケータの各々は、前記修理範囲の前記マップ上の位置と関連付けられる、生成することと、

前記データ処理システムの前記スクリーン上に、前記修理エリアの前記マップに対して前記温度センサインジケータを表示することとを更に含む、請求項2に記載の方法。

## 【請求項 8】

少なくとも一つのプロセッサを有するデータ処理システムにより実行される熱管理のための方法であって、

構造物の修理範囲のマップを生成することであって、前記修理範囲は、損傷したエリアを含む修理エリア(214)を含む、生成することと、

前記修理エリア(214)付近に配置される複数の温度センサから温度を受信することと、

一つ又は複数の断熱提案を決定するために前記修理エリアの前記マップ及び前記温度を分析することであって、各断熱提案は、前記温度センサのうちの一つ又は複数の表示若しくは前記修理範囲の断熱エリアの表示を含む、分析することとを含む、方法。

## 【請求項 9】

修理管理システムであって、

修理エリア付近に配置されるように適合される複数の温度センサであって、前記修理エリアは、損傷した構造物のエリアを含む、複数の温度センサと、

前記構造物の修理範囲を走査するように適合されるスキャナであって、前記修理範囲は、前記修理エリア(214)及び前記修理エリアを取り囲みかつ前記修理エリアの下にある構造物の部分を含み、

前記スキャナは、前記修理範囲の構造組成についての構造情報を出力する、スキャナと、

前記温度センサ及び前記スキャナに連結されるデータ処理システムであって、前記データ処理システムは、

前記構造情報を前記スキャナから受信し、

前記修理エリア(214)のマップを生成し、

前記修理エリア付近の前記温度センサの提案された配置を決定するために前記構造情報を分析する

ためのコンピュータコードを実行するプロセッサを含む、データ処理システムとを備える、修理管理システム。

## 【請求項 10】

修理管理システムであって、

修理エリア(214)付近に配置される複数の温度センサであって、前記修理エリア(214)は、損傷した構造物のエリアを含む、複数の温度センサと、

前記修理エリアを走査するように適合される走査システムと、

前記温度センサ及びスキャナに連結されるデータ処理システムであって、前記データ処理システムは、

前記走査システムから受信される情報に基づき、前記修理エリア(214)のマップ

を生成し、

温度を前記複数の温度センサから受信し、

一つ又は複数の断熱提案を決定するために前記修理エリア(214)の前記マップ及び前記温度を分析し、各断熱提案は、前記温度センサのうちの一つ又は複数の表示若しくは断熱で覆われるべき修理範囲の断熱エリアの表示を含むためのコンピュータコードを実行するプロセッサを含む、データ処理システムとを備える、修理管理システム。